



## 2012年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2011年6月28日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東  
 コード番号 4343 URL <http://www.fantasy.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 美津子 (TEL) 043 (212) 6203  
 問合せ先責任者 (役職名) 経経本部本部長 (氏名) 新田 悟 配当支払開始予定日 —  
 四半期報告書提出予定日 2011年7月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2012年2月期第1四半期の業績（2011年2月21日～2011年5月20日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2012年2月期第1四半期	9,650	△5.6	260	9.7	259	20.0	△47	—
2011年2月期第1四半期	10,222	△9.1	237	△48.8	216	△50.3	74	△54.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2012年2月期第1四半期	△2	61	—	—
2011年2月期第1四半期	4	11	4	11

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
2012年2月期第1四半期	22,245	17,036	17,036	17,036	76.4	937	88	
2011年2月期	21,421	17,613	17,613	17,613	82.1	970	50	

(参考) 自己資本 2012年2月期第1四半期 17,003百万円 2011年2月期 17,593百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2011年2月期	—	—	0	00	—	—	30	00	30	00
2012年2月期	—	—								
2012年2月期 (予想)			0	00	—	—	30	00	30	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 2012年2月期の業績予想（2011年2月21日～2012年2月20日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 (累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	40,700 ~41,100	△3.7 ~△2.7	2,400 ~2,600	△10.5 ~△3.1	2,400 ~2,600	△7.7 ~△0.1	900 ~1,050	△28.4 ~△16.4	49 ~57	65 92

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更： 有

② ①以外の変更： 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2012年2月期1Q	18,175,688株	2011年2月期	18,175,688株
② 期末自己株式数	2012年2月期1Q	46,048株	2011年2月期	47,051株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2012年2月期1Q	18,128,729株	2011年2月期1Q	18,126,165株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 [添付資料] P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間は、3月11日の東日本大震災により320店舗中109店舗が一時的に休業になるなど、極めて厳しいスタートとなりました。しかしながらその後、安全確認を迅速に実施し随時営業再開を進めた結果、5月20日時点で100店舗が営業を再開いたしました。

売上高の状況については、3月度が前期比14.9%減、4月度が前期比8.9%減と震災による店舗休業の影響で前年を下回りましたが、5月度に入り売上高前期比は6.5%増と大幅に前年を上回りました。これは3月に実施した「店別品揃え」を明確にした既存店遊戯機械の入れ替え効果に加え、営業再開した店舗で実施した「元気！笑顔プロジェクト」にお客さまから大きな支持をいただくとともに、震災の被害が大きかった北日本や東日本地区でのお客さまのインドア志向の強まり等により、被災地域の店舗が大幅に売上計画を上回ったことによるものです。

これにより、当第1四半期累計期間の売上高は、96億50百万円と前年同期比5.6%減となりましたが、震災後に策定した売上計画を2%程度上回る結果となりました。また、計画では営業損失を見込んでおりましたが、5月度の売上拡大と経費の圧縮等により、営業利益は2億60百万円と前年同期比で9.7%の増益となりました。経常利益は2億59百万円（前年同期比20.0%増）、特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1億85百万円、震災に伴う災害損失1億24百万円を計上しましたが、四半期純損失は47百万円に抑えることができました。

なお、海外事業については、中国の3店舗は順調に売上拡大を続けるとともに、イオンファンタジーマレーシアによるフランチャイズ店舗の直営化は6店舗（6月20日現在9店舗）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、前期末と比べて82百万円減少し104億13百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（5億35百万円）であります。

##### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、前期末と比べて9億6百万円増加し118億32百万円となりました。主な要因は、新規出店や活性化等の設備投資に伴う有形固定資産の取得（18億29百万円）や、減価償却費の計上による減少（9億9百万円）であります。

##### (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、前期末と比べて12億30百万円増加し49億94百万円となりました。主な要因は、新規出店や活性化投資等の設備投資により設備関係支払手形が10億12百万円増加したことあります。

##### (固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、前期末と比べて1億70百万円増加し2億14百万円となりました。主な要因は、資産除去債務を2億円計上したことによるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前期末と比べて5億76百万円減少し170億36百万円となりました。主な要因は、配当金5億43百万円の支払いによる減少、また、四半期純損失47百万円を計上したことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、75億19百万円（前年同期比21億57百万円増）となりました。主な理由は、以下のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、7億66百万円（前年同期比6億27百万円減）となりました。その主な内訳は、減価償却費9億70百万円の計上や、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1億85百万円、災害損失1億24百万円の計上による資金の増加と、法人税等の支払6億47百万円による資金の減少であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7億63百万円（前年同期比82百万円減）となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出4億89百万円、関係会社株式（イオンファンタジーマレーシア）の取得による支出3億31百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億38百万円となりました。その主な内訳は、配当金の支払5億38百万円です。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2011年4月5日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

尚、第2四半期累計期間の業績予想については、業績見通しが判断でき次第、速やかにお知らせいたします。

## 2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ1,941千円減少し、税引前四半期純利益は187,581千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は203,473千円です。

なお、従来、店舗の閉鎖に伴い発生する原状回復費用については閉店損失引当金として計上しておりましたが、同会計基準の適用に伴い、当第1四半期会計期間から資産除去債務として計上しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年5月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,519,846	8,055,740
売掛金	3,432	3,234
売上預け金	1,243,579	1,072,023
商品	439,396	277,876
貯蔵品	412,714	383,767
その他	794,209	702,705
流動資産合計	10,413,178	10,495,348
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	853,790	886,506
遊戯機械(純額)	5,776,748	4,930,785
その他(純額)	487,285	502,808
有形固定資産合計	7,117,823	6,320,100
無形固定資産		
のれん	1,087,135	1,144,352
その他	20,710	24,196
無形固定資産合計	1,107,845	1,168,549
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,097,155	2,113,623
その他	1,509,385	1,323,839
投資その他の資産合計	3,606,541	3,437,462
固定資産合計	11,832,210	10,926,111
資産合計	22,245,389	21,421,460

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年5月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,112,700	831,387
未払費用	1,088,178	1,081,561
未払法人税等	161,236	690,383
賞与引当金	319,485	151,541
役員業績報酬引当金	10,491	57,226
設備関係支払手形	1,502,876	490,075
閉店損失引当金	12,495	—
災害損失引当金	67,852	—
資産除去債務	4,520	—
その他	715,095	462,154
流動負債合計	4,994,933	3,764,330
固定負債		
資産除去債務	200,431	—
その他	13,680	43,960
固定負債合計	214,111	43,960
負債合計	5,209,045	3,808,290
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,717,378	1,718,312
利益剰余金	13,612,708	14,203,882
自己株式	△73,777	△75,439
株主資本合計	17,003,449	17,593,894
新株予約権	32,894	19,275
純資産合計	17,036,344	17,613,169
負債純資産合計	22,245,389	21,421,460

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)
売上高	10,222,295	9,650,535
売上原価	9,326,471	8,781,318
売上総利益	895,824	869,217
販売費及び一般管理費	658,469	608,900
営業利益	237,354	260,317
営業外収益		
受取利息	333	923
機械仕入割戻	8,605	885
その他	10,946	6,049
営業外収益合計	19,885	7,859
営業外費用		
減価償却費	34,297	—
リース解約損	—	6,180
固定資産売却損	—	1,887
その他	6,410	342
営業外費用合計	40,707	8,410
経常利益	216,532	259,765
特別利益		
役員業績報酬引当金戻入額	451	13,658
受取和解金	58,420	—
受取保険金	—	100,000
特別利益合計	58,871	113,658
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	6,295	12,495
店舗閉鎖損失	25,408	576
減損損失	—	18,821
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	185,639
災害による損失	—	124,590
特別損失合計	31,704	342,123
税引前四半期純利益	243,700	31,300
法人税、住民税及び事業税	228,289	144,568
法人税等調整額	△59,178	△65,953
法人税等合計	169,111	78,615
四半期純利益又は四半期純損失(△)	74,588	△47,314

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	243,700	31,300
減価償却費	1,267,487	970,367
固定資産除売却損益(△は益)	63,207	93,462
賞与引当金の増減額(△は減少)	132,228	167,944
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	△22,784	△46,734
受取利息	△333	△923
受取保険金	—	△100,000
減損損失	—	18,821
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	185,639
受取和解金	△58,420	—
災害損失	—	124,590
売上債権の増減額(△は増加)	138	△197
売上預け金の増減額(△は増加)	4,684	△171,556
たな卸資産の増減額(△は増加)	△92,642	△190,467
仕入債務の増減額(△は減少)	72,684	281,312
その他	△58,379	△51,351
小計	1,551,570	1,312,208
利息の受取額	171	1,655
和解金等の受取額	125,727	—
保険金の受取額	—	100,000
法人税等の支払額	△283,578	△647,650
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,393,890</b>	<b>766,213</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△805,632	△489,126
有形固定資産の売却による収入	31,336	25,166
関係会社株式の取得による支出	—	△331,641
長期前払費用の増加による支出	△11,843	△6,607
敷金及び保証金の差入による支出	△25,458	△12,053
敷金及び保証金の回収による収入	55,773	51,005
関係会社貸付けによる支出	△90,000	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△845,823</b>	<b>△763,257</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△50	△101
配当金の支払額	△539,000	△538,750
その他	—	1
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△539,050</b>	<b>△538,850</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,016	△535,894
現金及び現金同等物の期首残高	5,353,552	8,055,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,362,569	7,519,846

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。